

東日本大震災の被災蔵元に対する義援金の金額と配分について
(御礼とお知らせ)

東日本大震災による被災蔵元に対する義援金募集に御協力いただき、誠にありがとうございました。

日本酒造組合中央会では、被災組合員（蔵元）に対する「義援金」を本年3月16日より受け付けており、7月4日現在で**金62,446,536円**（酒造組合・組合員35,304,632円、取引先・酒卸売・酒小売・料飲店の方々等24,038,676円、一般消費者の方3,103,228円）もの義援金をお預かりさせていただいております。

改めまして、当業界の組合員に対するご心配・激励のお気持ち並びに多額の義援金拠出に対しまして、厚く御礼申し上げる次第です。

また、全国各地で震災復興に対するイベントや特設コーナー等での日本酒の販売・購入にもご協力いただき、併せて御礼申し上げます。

被災された組合員の一日も早い復興のため、業界一丸となって取り組んでおります。

被災及び復興の状況に差異があるものの、既に出荷を再開した組合員、来期の酒造りに向けて復興に励んでいる組合員等状況は異なりますが、全組合員が一步一步前向きに進んでいる状況です。

義援金の配分については、被災された組合員が広域かつ被害の状況も多様であるため、平等・公平性を期するため、被害状況などに応じた一定の配分基準を設け配分することとし、具体的には当初被害報告があった者275者のうち被害が比較的軽微であった90者（被害金額100万円未満の者）を除く185者と従業員の死亡者・行方不明者9名を対象に義援金を配分することとしました。この考えの下に、7月7日開催の当中央会 東日本大震災被災対策本部（理事会）において、下記のとおり配分額を決定いたしました。

義援金の送金につきましては、該当（所属）する県酒造組合を通じて、7月中に被災された組合員の皆様に届けられます。

なお、義援金につきましては、今後も当分の間、受け付けることとしており、ある程度まとまった段階で今回の義援金の配分残額と合わせて後日再配分したいと考えております。

今後とも、日本酒、本格焼酎・泡盛、みりん2種のご愛飲並びにご支援につきまして、よろしく御礼申し上げます。

暖かいご支援を誠にありがとうございました。

平成23年7月12日

日本酒造組合中央会
東日本大震災被災対策本部長
会長 辰馬章夫

記

【被災企業数と死亡者・行方不明者並びに義援金配分金額】

(単位；者／千円)

支部	県 別	被災企業数	死亡者・行方不明者	配分金額計
東北支部	宮 城	24	—	13,100
	岩 手	14	9	8,600
	福 島	40	—	14,100
	秋 田	1	—	100
	青 森	3	—	300
	山 形	9	—	1,300
	東北支部計	91	9	37,500
関東信越支部	茨 城	47	—	13,300
	栃 木	24	—	7,800
	埼 玉	3	—	300
	群 馬	3	—	300
	長 野	—	—	—
	新 潟	1	—	100
	関東信越支部計	78	—	21,800
東京支部	千 葉	16	—	2,700
合 計		185	9	62,000